

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要

| | | | |
|------|----------------------|--------|----------------|
| 建物名称 | 村岡公民館 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 神奈川県藤沢市村岡東一丁目5番17 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 準工業地域、防火地域指定なし | 平均居住人員 | 36人 |
| 地域区分 | 7地域 | 年間使用時間 | 2,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集会所, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2025年8月 | 評価の実施日 | 2025年7月15日 |
| 敷地面積 | 5,733 m ² | 作成者 | 株式会社 小林建築事務所 |
| 建築面積 | 1,698 m ² | 確認日 | 2025年7月15日 |
| 延床面積 | 4,058 m ² | 確認者 | 株式会社 小林建築事務所 |

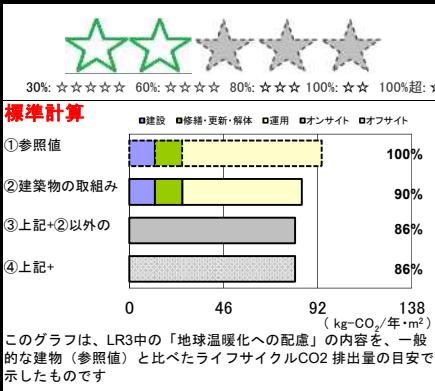
1-2 外観



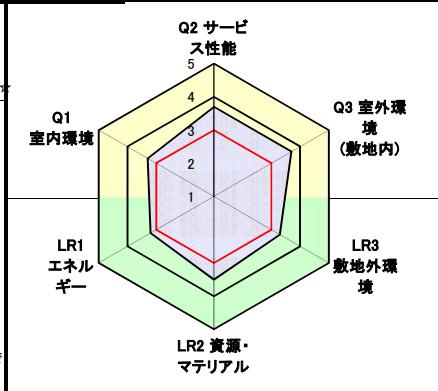
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

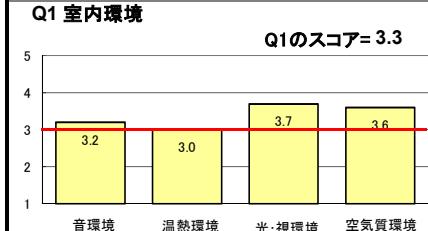


2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

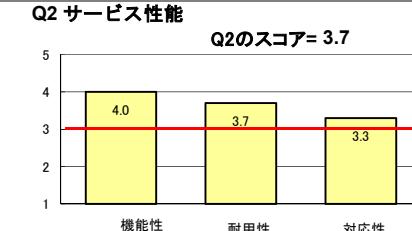


2-4 中項目の評価(バーチャート)

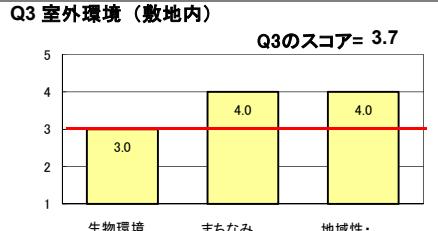
Q 環境品質



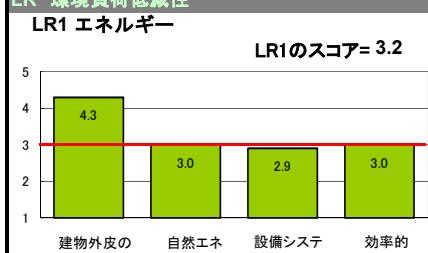
Q2 サービス性能



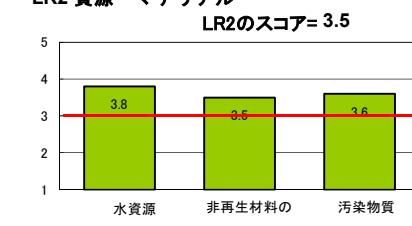
Q3 室外環境 (敷地内)



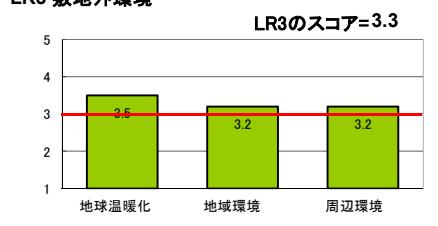
LR 環境負荷低減性



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

整合

施設の安全性・長寿命化を確保しつつ、「みんなが気軽に訪れ 支え合い 絆を育む 安全・安心で明るい公民館」を基に、誰もが利用しやすく、交流を促進する施設を目指す。

その他

Q1 室内環境

多目的ホールの壁、天井材に吸音材を使用し、全館禁煙とし空気質環境に十分配慮。

Q2 サービス性能

災害時に雨水を使所洗浄に使用。
適切にパブリックスペースを設けるなど、長寿命化に向けて設備のメンテナンス及び更新性に配慮した計画。

Q3 室外環境 (敷地内)

テラスを多く設置し地域の憩いの場に貢献している。

LR1 エネルギー

高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮。

LR2 資源・マテリアル

雨水利用設備を導入し水資源の保護に配慮している。
高性能ノンフロン断熱材を採用している。
自動水栓及び節水型便器などの省水型機器を採用するなど、水資源を保護している。

LR3 敷地外環境

ゴミ量の推計や有価物の回収を計画し、廃棄物処理負荷抑制に配慮している。
また、広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフケイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される